

動物愛護週間特集号

9.15

2016
(平成28年)

■八王子市保健所 ☎042・645・5111 (代表)

■ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>
(モバイル版) <http://mobile.city.hachioji.tokyo.jp/>



写真提供：一般財団法人 ペット災害対策推進協会

近年発生した大規模な災害において、飼い主がやむを得ずペットを残して避難をしたり、避難の途中でペットとはぐれてしまった事例が数多く報告されました。また、ペットと一緒に避難した先では、飼育に伴う臭いや鳴き声などをめぐり、トラブルが起きるという事態も少なくありませんでした。

八王子市では、災害時にペットを連れて避難したときの受け入れ態勢や、飼い主が避難所でペットを自主管理できる体制づくりについて準備を進めています。

もし、八王子市で災害が発生したら・・・その時に備えて、日頃から避難の流れについて確認しておきましょう。(2 ページ参照)

災害で避難が必要になったら?!



③そして

近くの
指定避難所へ



同行避難するときは

②つぎに

ペットの安全確保と
避難の準備

①まずは

自分自身の
安全確保

飼い主が
無事でなければ
ペットの安全を
守ることは
できません!



Check!

- ・犬はリードに繋ぎましょう。
- ・猫はキャリーバッグやケージに入れましょう。
- ・避難所には、動物の苦手な方やアレルギーを持った方もいます。必ず、管理者の指示に従いましょう。

※市内の指定避難所は137か所あります。
事前に、防災マップなどで近くの避難所を確認しておきましょう!



安心・安全な同行避難のために・・・

● 飼い主が分かるようにしておきましょう ●

鑑札等を付けていると迷子になっても飼い主の元に戻る確率が高くなります。(犬には、鑑札と注射済票の装着が法律で義務付けられています。)また、マイクロチップも装着することで、万が一首輪が外れてしまっても安心です。



鑑札



注射済票



マイクロチップ

◇平成27年度に迷子などで保健所に收容された犬のうち、鑑札や注射済票を付けていた犬は、全て飼い主の元に戻ることができました。

● 避難所でのトラブルを防ぐためにもしつけは大切です ●

- ・「すわれ」「まで」「おいで」などの基本動作ができるようにしておきましょう。
- ・人や動物を怖がらないように、色々な刺激に慣らしておきましょう。
- ・普段からケージやキャリーバッグに入ることに慣らしておきましょう。
- ・むやみに吠えないようにしておきましょう。

ペットのための

持ち出し袋をつくりましょう

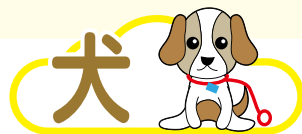
- ☐ 常備薬
- ☐ フードや水(最低5日分)、食器
- ☐ ケージ、係留用品(リードやハーネスなど)
- ☐ 排せつ処理のための物(ビニール袋など)
- ☐ 飼い主と一緒に写真、愛犬手帳など
- ☐ ブラシ、爪切り
- ☐ タオル



◀うちの子ノート
(愛犬手帳)

今、動物を飼っている方へ

～マナーを守って、地域と共生～



◆ 放し飼いや散歩中に犬を放すことは危険です



犬のとっさの行動に対応できるようにリードは短めに持ち、長さが伸び縮みする伸縮リードは短めに固定して持ちましょう。

◆ 周辺環境への配慮

動物が好きな人もいれば苦手な人もいます。飼っているペットが嫌われないよう、犬が公共の場所で排せつしてしまった場合は、尿は水で流し、糞は持ち帰りましょう。

※排せつ物の処理は、飼い主の責任として条例に定められています。



◆ 狂犬病予防注射を受けましょう

狂犬病はすべての哺乳類がかかり、人が発症するとほぼ100%死亡する恐ろしい感染症です。犬と人の健康のためにも、飼い犬には毎年4月1日から6月30日までに狂犬病予防注射を受けさせましょう。

※飼い主が飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせることは、法律で定められています。

平成29年度の集合注射について

市では、毎年4月に公共施設や公園などで狂犬病予防定期集合注射を実施しています。来年度から、狂犬病予防定期集合注射の会場や時間に変更になります。詳細が決まり次第、市の広報やホームページでお知らせします。



◆ 猫は室内で飼いましょう

外には、交通事故や感染症など多くの危険が潜んでおり、室内で飼育することが猫にとって安全です。万が一の時のために、室内飼育であっても日頃から名札やマイクロチップなどの身元表示をしておきましょう。

※飼い猫は、室内での飼育に努めるよう市の条例で定められています。

◆ 日常の健康管理に気を付けましょう

感染症予防のために、室内飼育であってもワクチン接種をしておきましょう。また、日頃からノミ・ダニの予防や駆除を行っておきましょう。



これから動物を飼う方へ

～ずっと家族でいるために～

動物は、日々の暮らしに癒しや潤いを与えてくれる可愛い存在です。それと同時に、私たち人間と同じように命ある存在です。毎日エサを食べ、排せつもします。楽しいことも多いのですが、掃除をしたり、体を清潔にしたりと、動物の世話に休みはありません。飼い主となるあなたには、そうした覚悟が必要です。愛情をかければ、動物は応えてくれます。

人も動物も最期まで幸せに暮らすために、もう一度、次のことについて確認してみましょう。

●飼う前のチェックリスト●

- ☐ 飼いたい動物について習性や飼い方を調べましたか？
- ☐ 動物の寿命を考えたライフプランを立ててみましたか？
- ☐ 毎日の世話ができる時間・体力（散歩や掃除など）・経済力がありますか？
- ☐ 家族全員の同意が得られ、家族に動物アレルギーの方はいませんか？
- ☐ 動物が飼えるスペースのある住まいと周辺環境がありますか？
- ☐ 万が一のときに預けることができる人や場所がありますか？



＜参考＞

■1年間にかけた費用(2015年・1頭あたり)

犬：339,488円

猫：171,216円

(2016年3月 アニコム損害保険株式会社調べ)

■飼う前にこんな本もぜひ一読を!

動物愛護読本 「犬を飼うってステキですか？」
(東京都福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 発行)

犬を飼うってステキですか？

検索

🐾 動物講演会を開催します 🐾

① ペットのための災害対策

～もう一人の家族を守るために～

講師／会田 保彦 氏(ヤマザキ学園大学教授)

内容／災害時にペットの安全を守るための方法を学ぶ。

期日／11月5日(土曜日)

時間／①午後1時から午後2時まで

②午後2時30分から午後4時まで

会場／クリエイティブホール 11階 視聴覚室(東町5-6)

対象／市内在住、在勤、在学の方

② ペットの健康チェック

～不調のサインを見逃さないために～

講師／鈴木 友子 氏(ヤマザキ学園大学講師、獣医師)

内容／ペットの不調を知らせるサインを読み取り病気の早期発見につなげる方法を学ぶ。

定員・費用／各70名(先着順)・無料

申込／9月15日(木曜日)から電話またはFAXで生活衛生課へ

☎042-645-5113、FAX042-644-9100

※当日、会場へは公共交通機関をご利用ください。